

# 石山っ子

那加第一小学校  
学校だより  
平成30年 7月 2日  
No. 4



## 発見と驚きのある毎日に

校長 中島 雅子

1年生は、5月に生活科の授業であさがおの種を植えました。毎朝、子どもたちは鉢に水をやりながら、「蝶々のような葉っぱ(=双葉)が出てきたよ」「見て見て。葉っぱが手の平ぐらいに大きくなったよ」「あれ?葉っぱに毛が生えている。最初に出てきた葉っぱ(=双葉)はつるつるしているのに、どうしてかな?」と、発見と驚きの連続です。キラキラした眼であさがおを観察している子どもたちは、どの子も輝いています。

2年生もミニトマトやナス、ピーマンを植え、収穫を心待ちにしながら、「あれ?ナスの花はうす紫色でナスの色に似ているのに、どうしてピーマンの花は白色なの?」「ナスの花は下向きに咲いている!ナスが重いからかな?」と、苗をじっくり観察し、発見と驚きの声を挙げ、毎日、水やりをしています。

修学旅行で出かけた6年生も、間近に観た東大寺の大仏の大きさに息をのみ、金閣寺や平等院、法隆寺の五重塔の美しさ、歴史の荘厳さにただただ見とれていました。

実物や本物を自分の目と心の眼でじっと見つめ、自然の摂理の神秘さや歴史の壮大さに、畏敬の念やあこがれをもって立ちつくしている子どもたちには、これからも素直さ、純粹さをもち続けてほしいと思います。

いよいよ1学期を締めくくる7月を迎えました。どの学級も一歩前進した姿をめざして、学級・学年の宝物づくりに取り組みます。互いに呼びかけをしながら、みんなでやりきり活動を展開していく中で、一人一人が仲間の頑張りを見出し、自分たちの団結力や底力に感動できる締めくくりをしてほしいと思います。

そして夏休みも、日頃感じている不思議を追究したり、普段できない体験をしたりして、発見や感動を味わう日々を過ごしてほしいと思います。

金子みすゞさんの詩に「ふしぎ」という詩があります。

わたしはふしぎでたまらない、  
黒い雲からふる雨が、銀にひかっていることが。

わたしは ふしぎでたまらない、  
青いくわの葉たべている、かいこが白くなることが。

わたしはふしぎでたまらない、  
たれもいじらぬ夕顔が、ひとりでぱらりと開くのが。

わたしはふしぎでたまらない、  
たれにきいてもわらってて、あたりまえだ、ということが。

たくさんの不思議があるなかで、誰に聞いても「あたりまえだ」と人が言うことが、一番の不思議だと言っています。「不思議だな?」「なぜだろう?」が「学び」の原点です。子どもたちの「不思議」という感性を大切に育てていきたいと思います。